

舞踏の越境

メテオール 《土方巽とその分身》をめぐって

2019年12月1日(日) 14:00-17:00

東京大学駒場キャンパス 18号館ホール



© Boryana Pandova

メテオール (Metheor)

アニ・ヴァセヴァ (演出家、アーティスト)、レオニード・ヨフチェフ (俳優)、ボヤン・マンチェフ (哲学者、ド
ラマトウルク) の3名を中心とするアーティスト・コレクティヴ。これまでブルガリア国内で《フランケンシュタイン》(2012)、《マルドロール》(2015)、《ラヴクラフト》(2016)、《雲》(2017)といった実験的なパフォーマンス作品を発表し、高い評価を受ける。2017年にメテオール叢書を設立し、哲学や舞台芸術に関する英語、ブルガリア語の理論書を多数刊行している。2019年、プロヴディフ (ブルガリア) で《土方巽とその分身》を初演。

出演 (イントロダクション、パフォーマンス、ラウンドテーブル)

小林康夫 (青山学院大学) 國分功一郎 (東京工業大学) 星野 太 (金沢美術工芸大学)